

(仮称) 町田市産業振興計画 19-28 (素案)

パブリックコメントの実施結果

町田市経済観光部産業政策課

2019年1月

(仮称) 町田市産業振興計画 19-28 (素案)

パブリックコメントの実施結果

「(仮称) 町田市産業振興計画 19-28」の策定にあたり、下記のとおり意見を募集しました。貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

いただいたご意見は、計画策定及び今後の市政運営の参考にさせていただきます。

1 募集期間

2018年10月15日(月)～11月15日(木)

2 募集方法

計画素案については、町田市ホームページに掲載したほか、各市民センター、駅前連絡所、図書館等で閲覧していただくとともに、各施設で素案の概要を配布しました。

3 ご意見の内訳

18者から、52件のご意見を頂きました。

項目	件数
計画全体について	7
各チャレンジについて	-
“立ち上げる”チャレンジについて	4
“拡げる”チャレンジについて	4
“つなぐ”チャレンジについて	5
“ビジネスしやすく、働きやすいまちづくり”について	14
計画の推進について	6
その他	12
合計	52

※ご意見の概要と市の考え方は次ページ以降をご覧ください。

なお、取りまとめの都合上、ご意見は要約して掲載しています。

「(仮称) 町田市産業振興計画 19-28」(素案) に関する ご意見の概要と市の考え方

(1) 計画全体に関するご意見 (7件)

番号	ご意見	市の考え方
1	大きな方向性と政策の柱は、社会の流れを捉えた、そして町田の強みを生かした素晴らしいものと感じた。この方向性で力強く押し進めてほしい。	本計画は、10年後の将来の変化を見据え、チャレンジする事業者を積極的・重点的に支援するものです。市の施策についても、技術革新や消費行動など、社会環境の変化をいち早く捉え、迅速に対応してまいります。
2	町田市はベッドタウンとして、然したる特徴が無い「自由時間都市」「まほろ町」として発展してきた町で、電車2路線と東名高速至近という有効なコンテンツを活かしきれていない。	交通利便性の高さは、市内産業にとって強みのひとつであると考えています。本計画では、多摩都市モノレールの延伸等、今後予測される交通環境の変化も考慮し、町田市の強みを活かした施策を推進していきます。
3	「医療・福祉」部門の従業者数が多いが、大病院もなく、将来的にその部門で開業が増えていくのだろうか。	直近の統計を見ると、全国的に「医療、福祉」分野の開業率が高く、町田市でも同様の傾向がございます。
4	工業部門での産業育成が難しい町田市では、「教育・学習支援」にも影響する文化的産業の育成が長期で見ると必要になる。大学に医学部の設置を要望したり、駅前キャンパスも有効ではないか。また、芹が谷公園と国際版画美術館は全く活かされていない。博物館構想も無駄金にならないよう、モノレール路線も含め、総合的に進めてほしい。	本計画では、事業者と教育機関の連携(産学連携)を含めた異業種連携を促進し、新しい価値の創出を目指します。 いただいたご意見は関係部署にも周知し、今後の取り組みの参考とさせていただきます。
5	素案に掲げる目標を達成するためには、いち早く意見を集約し、産業政策として行動に移すことが大切である。ネット通販の隆盛により、商都としての町田が近郊圏において突出した都市として支持さ	本計画は、10年後の将来の変化を見据え、チャレンジする事業者を積極的・重点的に支援するものです。市の施策についても、技術革新や消費行動など、社会環境の変化をいち早く捉え、迅速に対応してまいります。

	<p>れる時間は限られていると考える。そこにしがみつくとのは得策ではない。重点分野を決めて集中した施策に取り組むべきである。</p>	
6	<p>アンケートデータを基に現状を捉え、実態に即した必要計画を策定していると思う。ゴールイメージである将来像が、ビジネスと働く人に焦点をあてて、地域の活性化を目指すという、根本方針が伝わってきた。</p>	<p>本計画では、“立ち上げる”” 広げる” “つなぐ” の3つのチャレンジの促進・支援と、“ビジネスしやすく、働きやすいまちづくり” からなる4つの柱を設定し、これらの柱に基づく施策を推進する事で、「ビジネスに、働く人に、心地よいまち」を目指します。</p>
7	<p>第4次産業革命の進展という状況の変化を予想する上で、情報通信業と製造業の発展を支援すること、あるいは情報通信業と製造業との連携が重要な施策となると考える。また、町田市の開業率が6.4%と高い点に注目し、「教育・学習支援業」、「医療・福祉」、「情報通信業」、「宿泊、飲食サービス業」の開業率の高さから、今後の成長が期待できる。競争力強化や付加価値向上等の意欲が高い事業者が多いという考察は大変興味深く、東京中小企業家同友会町田支部としては、「良い会社」「良い経営者」「良い経営環境」を目指す経営者団体という立場から、地元企業との連携を拡大し、町田市産業支援の一部でも支える存在として機能していきたい。中小企業の経営問題は山積しているが、今後も継続して市の活動に積極的に参加しながら、必要に応じて政策要望を提出するなど意見を発し、経営者団体としての使命を実践したいと考えている。</p>	<p>本計画では、事業者の競争力強化や新しい価値の創出を目指し、異業種・異分野の連携促進に取り組みます。</p> <p>施策の推進や制度設計にあたっては、事業者の皆様のご意見を伺いながら進めてまいります。</p>

(2) “立ち上げる” チャレンジに関するご意見（4件）

番号	ご意見	市の考え方
1	<p>AI・ロボット・ドローン・フィンテック・バイオ等の今後の成長が見込めるベンチャー企業の誘致と起業を促すため、町田地域の経営者がエンジェル投資家となって経営者間の人的・物質的なネットワークを提供し、スタートアップ企業の成長を支援する「町田ファンド」（投資型ファンド）の創設を提案する。</p>	<p>本計画では、起業・創業後の事業拡大に向けた資金調達を後押しするため、クラウドファンディングを含めた多様な支援を行うこととしています。いただいたご意見は、今後の取り組みの参考にさせていただきます。</p>
2	<p>自治体によっては集合形式の創業セミナーだけでなく、マンツーマンで個別支援型の創業支援を行っているところもある。もちろん、所定の時間数支援を受けると、法人設立時の登録免許税が半額になる。個別支援型の方が、手厚く支援できるため併用を検討してほしい。</p>	<p>町田市では、市と町田新産業創造センター、町田商工会議所、市内金融機関が連携した「町田創業プロジェクト」を通じ、市内で起業・創業する方の支援を行っています。また、集合形式のセミナーだけでなく、個別相談も実施しています。今後も「町田創業プロジェクト」を継続し、起業・創業の実現を支援してまいります。</p>
3	<p>町田で起業してもある程度の規模になっていくと町田を離れてしまう。他市からの誘致に負けない好条件を提示する必要もあるのではないか。</p>	<p>本計画では、大規模な事業用地が少ないという町田市の状況を考慮し、業種や規模等が市内の事業環境に適した企業の誘致活動や、町田の特色や強みを活かした事業者の集積促進に取り組みます。また、起業・創業を実現した方が、事業を長く継続できるよう、アフターフォローとして、経営支援や資金調達の支援を行います。</p>
4	<p>他の自治体の創業スクールでも、年々人集めに苦労している所がある。少子高齢化の一層の進展を見据え、健康経営を推進することで、地域間の人材争奪戦で勝ち残る必要がある。それにより、質と量の人材確保により、指標「開業率の上昇」が達成されるのではないか。</p>	<p>“立ち上げる”チャレンジの指標である「開業率の上昇」を達成するためには、多様な人材に「選ばれるまち」であることが必要です。</p> <p>いただいたご意見は、今後の取り組みの参考にさせていただきます。</p>

(3) “拡げる” チャレンジに関するご意見 (4件)

番号	ご意見	市の考え方
1	<p>既存事業者に対する支援について、産業見本市や交流展への出展支援というが、出展するには莫大な費用がかかる。慰み程度の助成金を一度きりで支援といえるのか。</p>	<p>既存事業者への支援としては、産業見本市や交流展への出展支援の他、商品開発やブランド化、人材確保、事業承継等、事業者の課題に応じた各種支援を継続的に実施してまいります。</p>
2	<p>「まちだのイチオシ商品」として一体的なPRというが、まずは、学校給食等、行政とその関連機関で積極的に使って行く事から始めるべきではないか。これ以外にも継続的な販路が求められている。特に営業力を持たない福祉施設等については市役所での定期的な販売だけでなく、ぽっぽ町田のような常時販売できる拠点を設けるべきである。市内だけでなく友好都市でも展開できるように働きかけてほしい。</p>	<p>町田市名産品や町田市トリアル発注商品、まち☆ベジといった町田生まれの優れた商品である「まちだのイチオシ」商品について、今後は、商品・サービスのPRや販路拡大の支援をさらに充実させ、「町田ブランド」の醸成を促す取り組みを進めます。</p> <p>いただいたご意見は、関係部署にも周知し、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>
3	<p>中小企業の方々に伺うと、町田市の中小企業支援施策は概ね喜ばれている。トリアル商品認定制度やまちだ名産品認定制度等についても、合格を目指し、一層より良い商品を創ろうという意気込みが感じられる。仕事と家庭の両立表彰の受賞企業様から、今後の励みになるという気持ちも聞いている。“拡げる”チャレンジの指標を達成するための動機づけとして、表彰制度を更に充実・拡大してはどうか。</p>	<p>トリアル発注認定制度や町田市名産品等の各種認定制度については、事業者の競争力強化やブランド化に向けた支援のひとつとして、引き続き取り組んでまいります。また、今後は、商品・サービスのPRや販路拡大の支援をさらに充実させ、「町田ブランド」の醸成を促す取り組みを進めます。</p>
4	<p>町田市は小売商業中心の市だが、商業以外のビジネス分野も活性化させるための施策に期待したい。起業・創業支援はもちろん、第二創業と呼べる事業の転換を図っている企業に</p>	<p>本計画の“拡げる”チャレンジでは、イノベーションの促進と新しい価値の創出を目指し、既存企業の新分野・新技術への進出を支援します。その中で第二創業を含めた事業転換の支援</p>

	も事業支援の目を向けることで、さらに有望企業を見出し、企業活性化に繋がるものとする。	にも取り組みます。
--	--	-----------

(4) “つなぐ” チャレンジに関するご意見 (5件)

番号	ご意見	市の考え方
1	人材の採用・育成は、あらゆる業種の共通の課題であり、その重要性が増している。働きやすさ、欲しい人材の確保（人材バンク・M&A）、新規で設ける制度や既にある制度の活用促進も含めて考えてほしい。	人口減少社会において、人材の確保・育成は重要な課題であると考えています。本計画では、ジョブ・カード等の既存の支援制度に加え、人材を「経営資源」のひとつと捉えた、更なる取り組みを推進してまいります。
2	経営相談について、以前中小企業診断士と言われる方に来てもらったが、通り一遍の事しか言わず全く時間の無駄であった。	いただいたご意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。
3	起業後、30周年を迎えられる会社は、わずか0.02%しかない。少子高齢化の一層の進展を見据え、人的生産性向上に資するためには、当市でも開廃業の実態把握、そして今後の正しい施策の立案のため、実態調査フォローアップが必要ではないか。さらに、事業承継の実態把握も同時に実施することが効率的である。	本計画の策定にあたっては、開業率・廃業率を始めとする各種統計データを確認するとともに、事業者アンケート調査及び消費行動実態調査を実施し、市内産業の実態把握を行いました。今後も継続的に指標を確認するため、実態把握に努めてまいります。
4	指標として、事業所数の維持とあるが、それが果たして可能なのだろうか。昔と異なり、親族内承継は極端に減っている。また、中小企業の七十数%は赤字という統計資料もあり、この様な状況で従業員承継が可能だろうか。事業所数維持のためには、良い企業を町田から逃げさせないようにする事が必要であり、早めに着手して早めに対策が必須である。また、退職金や年金を払う事なく、廉価で質の良い仕事を託す事ができる、定	本計画の“つなぐ”チャレンジでは、事業承継に対する早期の対策の促進を施策のひとつとしています。また、従業員承継に限らず、多様な形態の承継を支援する必要があると考えています。多摩ビジネスサポートセンターを中心に、市や町田商工会議所、町田新産業創造センター、金融機関等がネットワークを構築し、事業承継に対するきめ細やかな支援を行ってまいります。

	年退職したキャリア仕業が活躍できると考える。	
5	労働力人口の減少は、確実に迫りくる問題として早期に対策を進めないといけない。あらゆる分野においてIT技術を取り入れ生産性を向上させること、表面的な働き方改革ではなく、仕事の仕組みを変えるような啓蒙活動も重要になってくると思う。	本計画の“つなぐ”チャレンジでは、今後予測される労働力人口の減少に対応するため、生産性の向上や人材の確保・育成等を支援します。その中で、IoT・AIを始めとした新技術の導入による業務の効率化や生産性向上を促進します。技術の進展に伴い、テレワークや在宅ワーク等の多様な働き方が生まれているため、事業者に向けた情報提供等の啓発活動にも取り組んでまいります。

(5) “ビジネスしやすく、働きやすいまちづくり”に関するご意見（14件）

番号	ご意見	市の考え方
1	高ヶ坂地域には生鮮食品を買える場所が無く、困っている。特に高齢者は車で出かけることもできず、安心して生活できない。対策をお願いしたい。	商店街等の実店舗は、身近な買い物場として市民生活に不可欠なものであると考えています。 いただいたご意見は、関係部署にも周知し、今後の取り組みの参考とさせていただきます。
2	町田市は商業の存在感が大きい「商都町田」であるが、実態は商店街のほとんどが賃貸テナントで、景況によっては、あっという間にシャッター通りになる可能性がある。	町田市では、商店会が取り組む施設整備やイベントへの支援を通して、商店街の振興に取り組んでまいりました。本計画では、これまでの支援に加え、地域の特性や課題に応じ、それぞれの商店街の魅力を高める取り組みを推進します。
3	町田で働く勤労者のための音楽祭・文化祭・運動祭を開催することが肝心である。市内で開催される文化・スポーツイベント等に関して、勤労者に補助を与える等、正規雇用の勤労者に特典を付与してほしい。町田市勤労者福祉サービスセンターを積極的に活用し、従業員に資する事業を推進してほしい。	本計画では、市内の勤労者が心地よく働き続けることができる環境づくりを目指し、中小企業従事者への福利厚生や相談の場の提供など、町田市勤労者福祉サービスセンターを始めとした関連団体と連携した取り組みを進めます。 いただいたご意見は、関係部署にも周知し、今後の取り組みの参考に

		させていただきます。
4	<p>町田駅周辺を訪れる多くの来街者に、まちの賑わいを提供し、そこで消費をしてもらうことで、商店街の振興につながると考える。そのためには、ペDESTリアンデッキを大きく一体化して、中央部に商店街を誘致し、屋根をつくり、傘が無くても乗り換えができるようにすることを提案する。近い将来には多摩モノレールのターミナルにもなり、乗り換え客は一段と増え、立川駅より便利となり、商売繁盛は間違いないものと思う。また、町田駅の中心部から町田ターミナルプラザに向かうバス通りの左右どちらかの地上に歩行者専用（車いすも可）の通路を新設したい。町田ターミナルプラザ方面への人の流れをつくれれば、東方面の商店街の活性化に大いに寄与できるものと思う。</p>	<p>町田市では、2016年度に「町田市中心市街地まちづくり計画」を策定し、ペDESTリアンデッキを含めた駅前空間の魅力向上や、個性と魅力あふれる商店街づくり等に取り組んでいます。中心市街地の活性化は産業振興においても重要な要素ですので、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>
5	<p>これまで商店街の店舗で、市の施策を受けて業績を伸ばしている店舗はない。計画が絵に描いた餅にならない様、進歩管理をしっかりしてほしい。また、計画の段階で個別にしっかりとカウンセリングをしてほしい。</p>	<p>本計画の推進にあたっては、推進委員会を組織し、進捗管理を行うことで、実効性を高めてまいります。推進委員会には、支援機関の他、実際に市内で事業を営む方にも参画いただきます。</p> <p>施策の推進や制度設計にあたっては、事業者の皆様のご意見を伺いながら進めてまいります。</p>
6	<p>団地と商店街の活用を求める。町田市は、団地や商店街と共に発展してきたと感じている。団地や商店街を過去の遺物とせず資産と考え、活用してほしい。</p>	<p>ご意見のとおり、大規模な団地や地域に根差した商店街は町田の特徴であり、地域資源であると考えています。いただいたご意見は、関係部署にも周知するとともに、今後の取り組みの参考にさせていただきます。</p>
7	<p>町田市は個人の地方税による税収の割合が高く、高齢化が進むと税収</p>	<p>大規模な事業用地が乏しいという町田市の状況を考慮し、本計画では、</p>

	<p>が減少する。そのため、企業の地方税による収入増加に戦略的に取り組む必要がある。そこで、駅近くに200～300人規模の事務所スペースを作り、名古屋や大阪の企業の本社を誘致することを提案する。</p>	<p>業種や規模等が市内の事業環境に適した企業の誘致活動や、町田の特色や強みを活かした事業者の集積を促進してまいります。</p>
8	<p>年間小売販売額の大幅な減少やネット通販の拡大の影響で、「リアル」店舗は大きな波に襲われている。町田市が「選ばれるまち」としての魅力を高めることが最重要の課題であると思う。そのためには、ペDESTリアンデッキを通行する多くの人々を、市街地・商店街へ流すことが大事だと思う。例えば、桜やイチョウを植栽したり、冬季にはデッキから原町田大通りに向けて印象的なイルミネーションを実施するなど、デッキと原町田大通りが一体となるツールやイベントを用意し、いつ来ても楽しい街並みづくり、季節感のある街づくりが必要だと思う。</p>	<p>町田市では、商店会が取り組む施設整備やイベントの支援を通して、商店街の振興に取り組んでまいりました。本計画では、これまでの支援に加え、地域の特性や課題に応じ、それぞれの商店街の魅力を高める取り組みを推進します。</p> <p>また、2016年度に「町田市中心市街地まちづくり計画」を策定し、ペDESTリアンデッキを含めた駅前空間の魅力向上や、個性と魅力あふれる商店街づくり等に取り組んでいます。</p> <p>いただいたご意見は、関係部署にも周知し、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>
9	<p>起業・創業を推進するにあたって、あまりにも賃料が高いことがネックになっていると思う。現状の不動産の相場賃料では、「ナショナルブランド」しか出店できない。行政と商店街が一体となり、家賃の補助制度を設けたり、期間限定のフリーレントスペースを運用したりすることを提案する。</p>	<p>本計画では、「ビジネスしやすく、働きやすいまちづくり」の中で、『「選ばれるまち』としての魅力を高める』を施策の方向性のひとつとしています。この中で、時代のニーズや環境の変化に応じて、町田の特色や強みを活かしたビジネスが生まれやすい環境づくりに取り組みます。</p>
10	<p>町田市は交通アクセスも良く、ビジネスでも観光でも恵まれた所に位置しているが、市内に目を向けると、道路等のハード面の整備が遅れ、買い物客は駐車場が整備された近隣地域に流出している。「古着のまち」「個性のある個人商店」等、雑踏のある</p>	<p>本計画では、「ビジネスしやすく、働きやすいまちづくり」の中で、『「選ばれるまち』としての魅力を高める』を施策の方向性のひとつとしています。この中で、時代のニーズや環境の変化に応じて、町田の特色や強みを活かしたビジネスが生まれやすい環</p>

	<p>「町田らしさ」が失われ、大手チェーン店ばかりが増え、物販は壊滅している。今、抜本的なスクラップアンドビルドを推し進めないと、賑わいはあるが購買につながらず、税収に困窮することにもなりかねない。</p>	<p>境づくりに取り組みます。</p> <p>いただいたご意見は、関係部署にも周知し、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>
1 1	<p>商工会議所の建物は仮設でこれまで過ごしてきており、できれば新産業創造センターの地に、この施設と一体化されたものになることが望ましいと思う。</p>	<p>本計画では、多くの事業者から「ビジネスしやすいまち」として選ばれるために、事業者のサポート体制の充実を図ります。町田新産業創造センターや町田商工会議所等、支援機関が連携し、より効果的な事業者支援体制を目指します。</p> <p>いただいたご意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>
1 2	<p>トップ当選の某議員が云ったような、商店街への見解はごもっともである。</p>	<p>商店街支援については、これまでのような一律の支援だけでなく、個別の商店街の特徴を考慮し、それぞれの魅力を高める取り組みを推進してまいります。</p>
1 3	<p>商業以外のビジネスを増やすために、市内のオフィス、工場の新設・規模拡大は、企業の立場で重要である。職住近接の豊かなビジネス環境を整備することで、企業が集まってくる可能性が高まると思う。</p>	<p>本計画では、大規模な事業用地が少ないという町田市の状況を考慮し、業種や規模等が市内の事業環境に適した企業の誘致活動に取り組みます。また、良好な住環境を強みに、職住近接や多様な働き方を推進することで、企業からも、働く人からも「選ばれるまち」を目指します。</p>
1 4	<p>住んでよし、働いてよし、消費もよしと、居住者にも、働いている人にも、商都の魅力を発揮し、市内外から幅広く消費する人たちが集まるようになればさらに活性化するのではないかと。町田で住む魅力、町田で働く魅力にプラスして、買い物、遊び、食事などの魅力に溢れるよう、特色作りが大事だと思う。この点において「ビジネスしやすく、働きやすいまちづ</p>	<p>ご意見のとおり、市内産業の活性化のためには、多様な人材が集まり、まちに賑わいがある環境が不可欠だと考えています。本計画では、コト・トキ・モノ消費を楽しむ空間としての商店街の支援や、町田の産業の魅力発信を通して、賑わいづくりに取り組んでまいります。</p> <p>いただいたご意見は、関係部署にも周知し、今後の取り組みの参考と</p>

くり」の施策の柱には特に期待する。	させていただきます。
-------------------	------------

(6) 計画の推進に関するご意見 (6件)

番号	ご意見	市の考え方
1	市に何でもやってほしいとは全く思っていない。活用度が高く実り多い個別施策をお願いしたい。	いただいたご意見については、個別の施策を検討する際に参考とさせていただきます。
2	計画の「真」の達成こそが町田の繁栄に繋がるので、早い段階から事業者との懇談をお願いしたい。	本計画の推進にあたっては、推進委員会を組織し、進捗管理を行うことで、実効性を高めてまいります。推進委員会には、支援機関のほか、実際に市内で事業を営む方にも参画いただきます。 各事業の推進や制度設計にあたっては、事業者の皆様のご意見を伺いながら進めてまいります。
3	本計画は、変化し続ける経済情勢に対応すべく、中小企業が生き残る為に必要な「企業間連携の強化」に特化した計画であると評価する。しかし、抽象的且つ理想を描いた絵に描いた餅で終わり、10年毎に同じことを繰り返すだけにならないためには、抽象論ではなく、革新的な具体策が必要であると考えている。	本計画の推進に向けて、具体的な施策を示した5ヶ年の実行計画を策定します。また、市と支援機関の他、市内事業者の方も含めた推進委員会を組織し、着実な推進と進捗管理を行い、計画の実行性を高めてまいります。
4	町田市は企業が集まるインセンティブに乏しいまちである。しかし、今後、AIやIoTの活用が進むことで、企業立地の要件として、土地が無い、環境が悪いといった理由は少なくなると思われる。今こそ、他の行政ができない(やっていない)ダイナミックな産業施策を打ち出すべきである。「画期的な新製品を開発してもなかなか売れない。」、「企業の血液である資金は調達できるものの金利が企業経営を圧迫している」等、今ここで	ご意見のとおり、今後予想されるAIやIoT等の技術革新は、生産性向上や多様な働き方の推進だけでなく、市内への企業立地を促進する際にも契機となると考えています。 施策の推進や制度設計にあたっては、事業者の皆様のご意見を伺いながら進めてまいります。

	働いている人達の悩みから、一步踏み出した革新的な産業施策の確立を期待する。	
5	<p>計画の策定は、いわゆる有識者を座長に、行政マンのシナリオで話を進めているのではないか。町田の実態を把握している民間の力を活用すべきだと声を大にして述べたい。私がこれまで接してきた経済観光部の職員は聞く耳を持つ素晴らしい人が多かったと思っているが、組織となるとどうか。その良さが発揮されるよう、活躍に期待する。</p>	<p>本計画の策定にあたっては、各種統計データを確認するとともに、事業者アンケート調査や消費動向実態調査を実施し、市内産業の実態把握を行っています。また、「町田市産業振興計画策定検討委員会」を組織し、学識経験者や支援機関の他、実際に市内で事業を営む方にも策定に参画いただいております。</p> <p>今後の事業の推進や制度設計にあたっては、事業者の皆様のご意見を伺いながら進めてまいります。</p>
6	<p>2019年度から2028年度に向けて、右肩下がりの環境の激変が避けられない今後の時節を考えると、市や商工会議所等の各々の機能を十分に発揮するために、黒子機能としてキャリア保持者や土業組織の一層の活躍が期待されても良いと思う。</p>	<p>ご意見のとおり、今後予想される環境変化に対応するためには、市と町田商工会議所、町田新産業創造センター等の支援機関の他、様々なキャリアを持った方や、土業組織等、各種団体が連携して事業者支援に取り組む事が必要であると考えています。</p>

(7) 其他のご意見 (12件)

番号	ご意見	市の考え方
1	<p>市場形成について、どの様な層が暮らすかによってビジネスの展開が大きく変わる。居住人口を増やすと共に「層」も考慮してほしい。</p>	<p>本計画では、良好な住環境を強みと捉え、職住近接や多様な働き方を推進する事で、子育て世代や若者、シニア層など様々な世代が活躍できる環境を目指します。</p>
2	<p>市の道路整備には欠点があり、特に町田街道の渋滞は来街者の激減に影響していると思う。混雑する町田シバヒロ付近の渋滞を解消するため、交番前の交差点を左折のみのロータリーにしてはどうか。</p>	<p>いただいたご意見は関係部署にも周知し、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>

3	<p>子どもがいる世代に選ばれ、人口流入を促すため、小中・中高などの一貫校を創設し、教育に力を注ぐことを提案する。学校の統廃合により使用されなくなった施設を有効活用することで、地域に子どもが残り、地域住民からも受け入れられやすいと考える。</p>	<p>生産年齢人口が減少する中、将来を担う若者の増加は市内産業の活性化に不可欠です。いただいたご意見は、関係部署にも周知し、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>
4	<p>現在の町田は、何でもあるけど(映画館は除く)、何にもないと言われていた。なんでもかんでも良くしようとして特色のない“まち”であり続けることは勿体ないと思う。</p>	<p>本計画では、「ビジネスしやすく、働きやすいまちづくり」の中で、『「選ばれるまち」』としての魅力を高める」を施策の方向性のひとつとしています。その中で、大規模な事業用地が乏しいという町田市状況を考慮し、業種や規模等が市内の事業環境に適した企業の誘致活動や、町田の特色や強みを活かした事業者の集積促進に取り組めます。</p> <p>いただいたご意見は、関係部署にも周知し、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>
5	<p>小田急が2018年1月に発行した「町田ぴあ」のような町田の魅力を発信する冊子を継続的に制作し続けてはどうか。商工会議所の会報では、目にする人が限られるため、一般消費者が手にすることができる形での情報発信が必要と考える。</p>	<p>事業者や働く人から「選ばれるまち」であるためには、町田の魅力を多くの方に知っていただくことが必要であると考えています。</p> <p>いただいたご意見は関係部署に周知し、連携しながら取り組んでまいります。</p>
6	<p>空き家等の活用について、あまり一軒家が空いているというイメージは無かったが、滋賀県豊郷町では、建築系の学生が空き家を改修し、格安でシェアハウスとして住んでもらい、契約期間満了後に住める状態になった家を返還するという試みを行っている。団地に関しては、以前森野団地を取り壊してスタジアムを建設するという発想を聞いたが、無理は</p>	<p>本計画では、市内産業10年後のイメージとして、人口減少に伴い発生する遊休資産が、新しいビジネスやコミュニティのために活用されている状態を想定しています。</p> <p>いただいたご意見は、関係部署にも周知し、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>

	あるもののダイナミックで面白いと賛同する。	
7	シバヒロは、いつまでも塩漬けにしておくのではなく、隣の市に負けない市民ホール等がほしいと思う。	いただいたご意見は、関係部署にも周知し、今後の取り組みの参考とさせていただきます。
8	「町田福祉祭？」というイベントがあり、参加者や出店者から、内輪と関係者だけで全く賑わいのない事業だと聞いた。行政主体でなく、市民や参加者の目線で計画と実行を望みたい。	いただいたご意見は、関係部署に周知し、今後の取り組みの参考とさせていただきます。
9	町田市、町田商工会議所、町田市農協、生産者、知的障害者施設、職場体験の中学生、そして私のような事業者。これは私の理想とする構図である。	本計画でも、異業種・異分野の連携を促進し、新しい価値の創出を支援します。
10	「ビジネスに、働く人に、心地よいまち」を具体的に進めるために、店頭における犬・猫の生体販売を町ぐるみで禁止することを提案する。真の犬猫の殺処分ゼロを実現することにより、「心豊かな、心地よいまち＝町田市」を望む。	いただいたご意見は、関係部署に周知し、今後の取り組みの参考とさせていただきます。
11	町田駅周辺は最近脚光を浴びている。昼夜を問わず、だれもが安全に、安心して楽しめる街であってほしい。	いただいたご意見は、関係部署にも周知し、今後の取り組みの参考とさせていただきます。
12	多摩都市モノレールの導入については、地域住民の特に重要なテーマとして取り上げてほしい。忠生、山崎地区在住の社員からも市の中心部へ移動する手段として期待されている。是非町田市としても強力で推進をお願いしたい。	多摩都市モノレールの延伸については、交通利便性の向上の他にも、導入路沿線への企業立地等、産業振興の効果も期待できると考えております。 いただいたご意見は、関係部署にも周知し、今後の取り組みの参考とさせていただきます。